

長野県JAバンクにおける 地域密着型金融の 取組状況について (平成30年度)



長野県JAバンクは県下JAと長野県信連の総称です



はじめに

- 長野県JAバンク（長野県下JAと長野県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成28～30年度長野県JAバンク中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んで参りました。
- 平成30年度の実績についてご報告いたします。



目次

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援……………P.2
2. 担い手の経営のライフステージに応じた支援……………P.13
3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、
担い手に適した資金供給手法の徹底……………P.22
4. 長野県JAバンク・県下JA独自の地域密着型金融の実績事例……………P.25

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

長野県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域の活性化するため、次の取組みを行っています。

農業融資商品の適切な開発・提供

担い手のニーズに応えるための取組み

JA内部門間連携の強化

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供①

- 長野県JAバンクは、JA独自の農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成31年3月末時点の農業関係資金（※1）残高は67,507百万円、日本政策金融公庫の受託貸付金（※2）残高は12,182百万円です。

（※1）農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

（※2）長野県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫の貸付金の受託取扱いを行っています。



1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供②

■ 営農類型別農業資金残高

平成31年3月末現在（単位：百万円）	
農業	44,841
穀作	3,096
野菜・園芸	25,762
果樹・樹園農業	3,468
工芸作物	4
養豚・肉牛・酪農	2,257
養鶏・鶏卵	97
養蚕	3
その他農業（※1）	10,156
農業関連団体等（※2）	22,666
合計	67,507

（※1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業が含まれています。

（※2）「農業関連団体等」には、JAや厚生連、全農とその子会社等に対する貸出金が含まれています。



1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供②

■ 資金種類別農業資金残高

平成31年3月末現在（単位：百万円）	
プロパー資金（※1）	60,121
農業制度資金（※2）	7,387
農業近代化資金	5,107
その他制度資金（※3）	2,279
合計	67,507

（※1）「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものを対象としています。

（※2）「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を長野県JAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給を行うことで長野県JAバンクが低利で融資するものを対象としています。

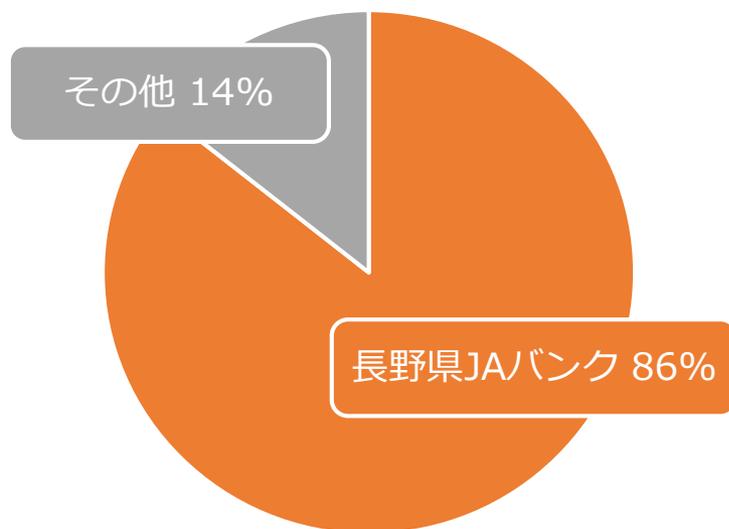
（※3）「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供③

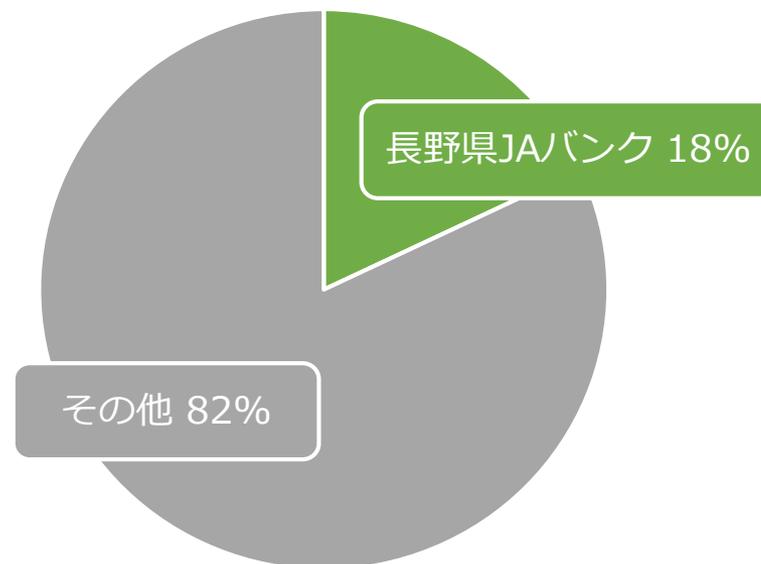
- 長野県JAバンクは主要な農業関係の制度資金の取扱いにおいて県内トップシェアとなっています。

【農業近代化資金融資残高シェア】
(県内比)



(平成29年12月末時点)
数値提供：農林中央金庫

【日本政策金融公庫農業資金取扱シェア】
(県内比)



(平成31年3月末時点)
出典：日本政策金融公庫業務統計年報
平成30年度版

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

農業融資商品の適切な開発・提供④

- 長野県JAバンクでは、農業者からのニーズに応えるため、各種農業資金をご用意しています。
- 主力商品である「JAアグリマイティーローン」、「JA農機ハウスローン」は、多くの農業者にご利用いただいています。
- 引き続き、農業者のニーズの把握・商品の拡充に取り組み、長野県の農業をバックアップしていきます。



長野県JAバンク
JAバンクのご案内

JAアグリマイティーローン

私たちは農業の未来を応援します。

- 農業の生産資金・運転資金はもちろん、生活関連の資金としてもご利用いただけるなど、幅広く利用しやすいアグリマイティーローンです。
- JA独自の利率のため、スピーディーなご融資が可能です。

長野県JAバンク
長野県JAバンク



長野県JAバンク
JAバンクのご案内

JA農機ハウスローン

私たちは農業の未来を応援します。

- 新機具や農機用ハウスの購入・維持管理にご利用いただけます。
- また、社内で借り入れた農機用ローンの借換資金としてもご利用できます。
- JA独自の利率のため、スピーディーなご融資が可能です。

長野県JAバンク
長野県JAバンク



長野県JAバンク
JAバンクのご案内

農業資金のご案内

私たちは農業の未来を応援します。

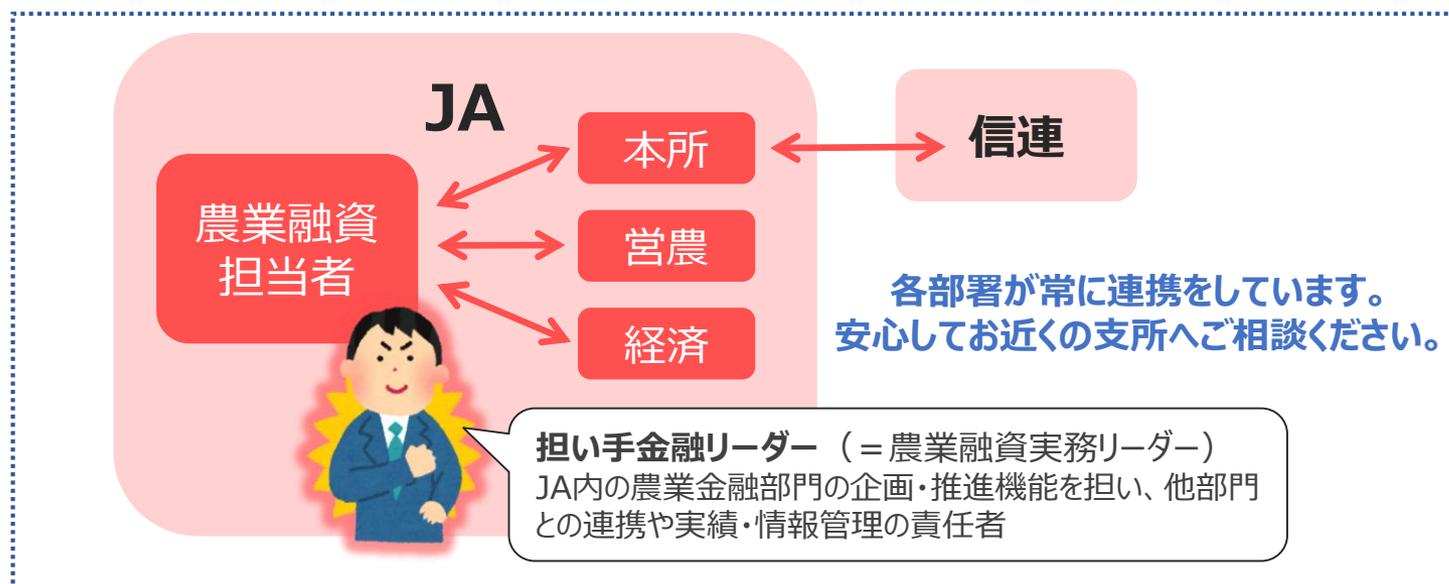
- ① **JAの貸出金**
JAアグリマイティーローン
JA農機ハウスローン
JA農業信用ローンほか
JA独自の利率のため
- ② **【付帯資金】**
農業士向け資金
農業経営者向け資金
青年向け資金等
- ③ **【各種支援制度】**
JAバンク子育て支援
アグリシートファンド
農地転用の支援等

長野県JAバンク

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

担い手のニーズに応えるための取り組み①

- 長野県JAバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。
- JAでは、本・支所の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。
- これを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を16JA・42名（平成31年3月末時点）配置しています。



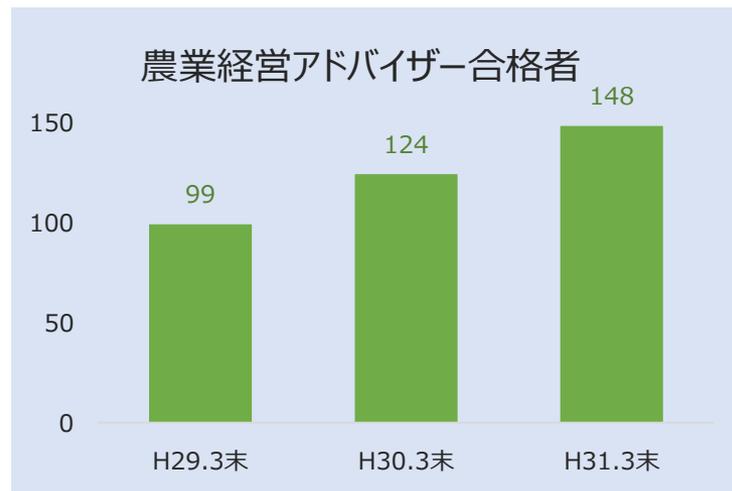
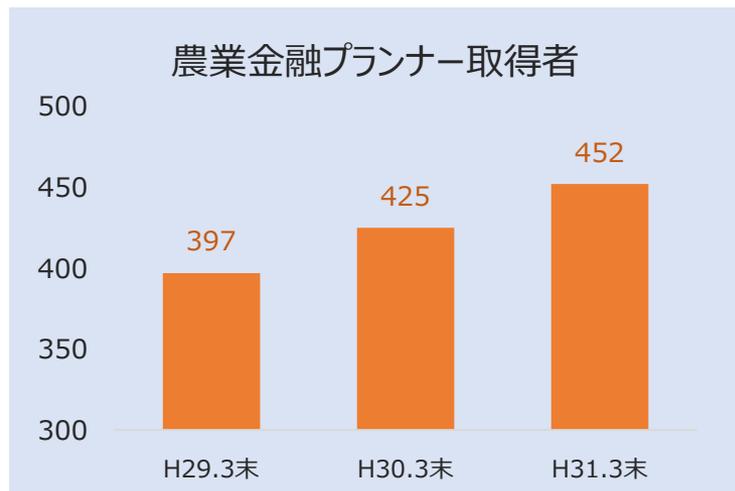
1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

担い手のニーズに応えるための取組み②

- 長野県JAバンクでは、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくため、農業融資の実務に即した資格の取得に取り組んでいます。
- 平成31年3月末時点において、**JAバンク農業金融プランナー**（※1）取得者は**452名**、**農業経営アドバイザー**（※2）合格者は**148名**が在籍しております。

（※1）農業金融プランナーとは、平成23年度より導入しているJA系統独自の農業融資資格制度です。

（※2）農業経営アドバイザーとは、農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的かつ的確なアドバイスを実践できる人材を育成するために日本政策金融公庫が平成17年に創設した人材育成制度です。



1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

担い手のニーズに応えるための取り組み③

- 長野県JAバンクでは、平成28年度から平成30年度にかけて、**農業担い手の所得向上**に向けた支援を強化すべく、長野県信連が資金提供し、総額13億円の**県域独自支援事業**である「**長野県JAバンク県域サポート事業**」の取組みを開始しています。

事業名	概要	平成30年度実績		累計（平成28～30年度）	
		件数	助成額 (百万円)	件数	助成額 (百万円)
農業近代化資金 保証料助成	「農業近代化資金」借入時に必要な長野県農業信用基金協会保証料の全額を助成	127	15	301	38
農機具等購入応援事業	農機具や装置などの設備類等について、原則本体価格の30%（上限200万円）を助成	336	166	1,053	658
親元就農支援事業	親元就農者の育成・営農にかかる費用等について、親元農家に対し20万円を上限として助成	34	6.8	111	22.2
法人 支援 事業	農業法人設立	26	3.5	58	7.8
	農業法人雇用拡充 支援事業				

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

JA内部門間連携の強化①

- 平成29年度より、信連職員が講師となり、JA向け「**農業融資パッケージ研修会**」を開催しています。参加者は、金融部門職員にとどまらず営農・経済部門の職員を対象としており、研修会を通じて、連携強化を図っています。
- 平成30年度末現在で延べ2,733名が参加しています。

農業融資パッケージ研修会

内容	<ul style="list-style-type: none">● 農業資金の全体概要● 農業経営改善資金計画書作成演習● 補助金等の情報提供● 青色申告書・決算書の読み方 ほか（全8回シリーズ）
対象者	JA職員（金融・営農・経済部門の幅広い職員が対象）
講師	長野県信連農業部職員
研修会場	各JAで実施（講師が各JAへ訪問）



2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

長野県JAバンクでは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

次世代農業者の育成支援

農商工連携の推進

農業者向けセミナーの開催

被災者への支援

経営不振農家の経営改善支援

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

次世代農業者の育成支援①

- 長野県JAバンクでは、新規就農者の農業経営と生活をサポートするため、新規就農者向けの様々な商品を取扱っています。
- 新規就農者向け資金の取扱い実績

平成30年度実績	新規実行		3月末残高
	件数	実行額	
青年等就農資金	52件	242百万円	1,189百万円
就農支援資金	—	—	179百万円
JA新規就農応援資金	20件	38百万円	76百万円
その他資金	0件	0百万円	8百万円
合計	72件	280百万円	1,452百万円

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

次世代農業者の育成支援②

- 長野県JAバンクでは、JAバンクアグリ・エコサポート基金※による「**新規就農応援事業**」を実施しています。

※ 当基金は、農林中央金庫の基金拠出を受け、さまざまな農業の担い手を支援するために、助成事業やファンドを通じた支援事業を展開しています。

■ 事業概要

営農支援事業：独立新規就農者が必要とする農業経営費を助成

研修支援事業：新規就農希望者の研修を受け入れる農家が必要とする研修費用を助成

■ 新規就農者向け資金の取扱い実績

平成30年度新規就農応援事業助成申請実績		
営農支援事業	110件	11,000千円
研修支援事業	23件	9,820千円
合計	133件	20,820千円

研修費、住居費等、就業研修に必要な費用を助成します。

営農支援事業（営農スタート）
平成30年度1月～平成31年度3月31日

研修支援事業（研修スタート）
平成30年度1月～平成31年度3月31日

研修費
研修費1人あたり 月額最大3万円
住居費1人あたり 月額最大1万円

就業研修
就業研修1人あたり 月額最大1万円

JAバンクアグリ・エコサポート基金 <http://www.jabank-ees.jp>

種や苗、肥料の購入など、農業経営にかかる費用を助成します。

独立新規就農者
1人あたり
年間最大20万円

JAバンクアグリ・エコサポート基金 <http://www.jabank-ees.jp>

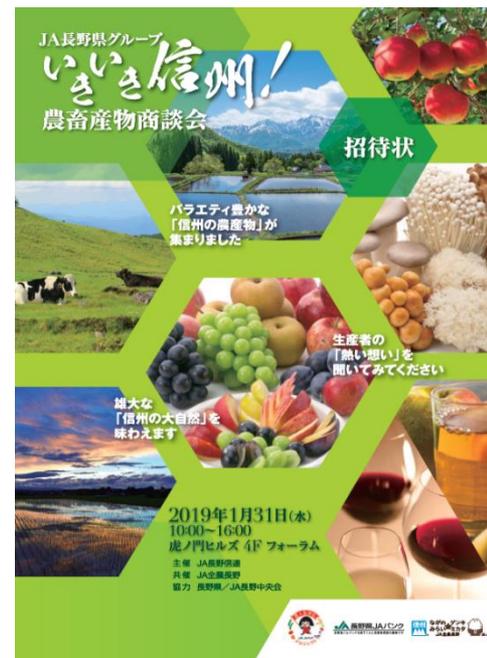
2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

農商工連携の推進①

- 長野県JAバンクでは、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会による販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「**農業者と産業界の架け橋**」としての機能を発揮しています。

【JA長野県グループいきいき信州！農畜産物商談会】

目的	「長野県の食の魅力・思いを発信する場」 「バイヤーの皆様から市場の声を聞く場」
開催日	平成31年1月31日
会場	虎ノ門ヒルズ
主催	長野県信連
出展セラー数	21団体
来場バイヤー数	353名
商談数	387件
商談成約数	20件（成約率5.2%）



2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

農商工連携の推進②

【JA・JFグループ北信越商談会】

開催目的	北陸新幹線（長野経由）延伸によって直結した北陸地方の市場開拓
参加県域	北信越5県 （福井・石川・富山・新潟・長野）
開催日	平成31年1月29日
会場	金沢流通会館
主催	JAバンク・JFマリンバンク
出展セラー数	40団体
来場バイヤー数	52団体
商談数	320件
商談成約数	66件（成約率20.6%）



各県のセラーが直接出品する形式を取り、「地産地消」に積極的な地元企業をはじめ、東海地方からも様々な業態のバイヤーにご来場いただきました。

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

金融セミナーの開催①

- 長野県JAバンクでは、農業者向け金融セミナーを開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【長野県JAバンク若手農業者向け金融セミナー（第1回）】

開催日	平成30年12月17日
場所	JA松本市会館
主催	長野県信連
対象者	若手農業者（PALネットながの会員ほか）
講師	（株）MISO SOUP プロジェクトプランナー 山岸直輝氏
参加者数	31名
内容	テーマ：「ブランディングとは～明日からできるブランディング～」
	講義内容： ①ブランディングとはなにか（ブランドの役割や必要性） ②ブランディングの構造・構築のステップ ③ブランディングのワーク



2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

金融セミナーの開催②

【長野県JAバンク若手農業者向け金融セミナー（第2回）】

開催日	平成31年3月20日
場所	長野県JAビル
主催	長野県信連
対象者	若手農業者（PALネットながの会員ほか）
講師	（株）IAC 代表取締役 秋島一雄氏
参加者数	31名
内容	テーマ：「若手農業者の経営術～仕事力向上と人材活用のヒント～」
	講義内容： ①仕事力向上に向けて ②マネジメントの基本 ③組織の方向性を示す ④組織で人を動かす ⑤組織の人材を育てる



2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

被災者への支援

- 長野県JAバンクでは、被災者支援のため、災害対策窓口を設置や災害対策資金の創設等の対応をしました。
- また、価格低迷・生産資材高騰を受けて、資金対応を行いました。

JA	資金名	資金概要	平成30年度新規実行	
			件数	実行額
JA中野市	平成30年度きのご経営強化資金	<ul style="list-style-type: none">● きのご類の季節的販売格差への対応として夏場の運転資金● 継続的な利用者多数	50件	658百万円
JAながの	菌茸季節対応資金・きのご特別運転資金	<ul style="list-style-type: none">● 菌茸生産農家の経営安定のため、きのご類の季節的販売格差への対応● 前渡金制度の代わりとなる資金対応	19件	67百万円
JAながの	山ノ内町がんばる農業応援資金	<ul style="list-style-type: none">● 農業者の経営安定・効率化・災害時の対応● 町とJAからの利子助成により低利にて対応	31件	62百万円
長野県JAバンク	アグリマイティローン（災害緊急資金）	<ul style="list-style-type: none">● 自然災害等（農畜産物の物価下落、資材価格の高騰を含む）の発生に際して、緊急性を要する復旧および経営維持にかかる資金を対応● JAバンク利子補給の対象	18件	42百万円

2. 担い手の経営ライフステージに応じた支援

経営不振農家の経営改善支援

- 長野県JAバンクでは、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営支援に取り組んでいます。

【経営不振農業者の経営改善支援等の取組実績】

		期初経営改善支援取組先 A (先数)	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a/A	ランクアップ率 = b/A
正常先①		60	17	—	4	28.3%	—
要注意先	うちその他要注意先②	45	24	3	32	53.3%	6.7%
	うち要管理先③	3	1	0	3	33.3%	0.0%
破綻懸念先④		46	15	2	31	32.6%	4.3%
実質破綻先⑤		36	3	0	15	8.3%	0.0%
破綻先⑥		5	0	0	1	0.0%	0.0%
小計(②～⑥の計)		135	43	5	82	31.9%	3.7%
合計		195	60	5	86	30.8%	2.6%

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

長野県JAバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

資本供与の取組み（ファンドの活用）

動産担保融資の活用

負債整理資金による経営支援

3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

資本供与の取組み（ファンドの活用）

- 長野県JAバンクでは、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

	出資件数	出資額
平成30年度	1件	10百万円
実績累計	14件	116.99百万円



動産担保融資の活用

- 長野県JAバンクでは、農畜産物や機械・設備などの動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

【アグリシードファンド活用実績】

種類	件数	残高	内容
畜産物	1件	1百万円	牛
機械設備	5件	63百万円	農業施設内の梱包機械
合計	6件	64百万円	



3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

負債整理資金による経営支援

- 長野県JAバンクでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取扱っています。

【平成30年度負債整理資金の貸出実績】

資金名	平成30年度新規実行		3月末残高
	件数	実行額	
農業経営負担軽減支援資金	0件	0百万円	75百万円
畜産特別資金	0件	0百万円	420百万円
その他	4件	43百万円	193百万円
合計	4件	43百万円	688百万円

【農業経営負担軽減支援資金】

営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取扱っています。

【畜産特別資金】

過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取扱っています。

4. 地域密着型金融の取組事例について

- 長野県JAバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っています。

JA農産物直売所クーポン券付き定期貯金「マルシェ」

長野県JAバンク秋冬キャンペーン
懸賞品付き定期貯金「Slow風土」

JA信州うえだ独自

農業者のための地元税理士税務セミナー

JA信州諏訪独自

農業振興サポート事業

JA信州諏訪独自

がんばる農家応援事業・
融資で後押しがんばる農家応援事業

JAあづみ独自

新規就農者への資金支援

4. 地域密着型金融の取組事例について

J A農産物直売所クーポン券付き定期貯金「マルシェ」

<p>経緯</p>	<p>「農業所得増大」と「地域活性化」をテーマに、総合事業を営むJAだからこそできる「農」と「食」をキーワードとした地域活性化への貢献を通じて、JAの社会的機能の発揮を実現することを目的とし、JA農産物直売所で使用できるクーポン券を特典とした定期貯金商品を発売しました。</p>
<p>取扱期間</p>	<p>(第一弾) 平成30年4月2日～5月1日 (第二弾) 平成30年6月4日～8月31日 (純新規限定)</p>
<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 期間1年のスーパー定期貯金 ● 預入10万円ごとに長野県内のJA農産物直売所60店舗および長野県Aコープ28店舗で使用できる500円分のクーポン券をプレゼント ● お一人様100万円まで契約可
<p>成果</p>	<p>今回は、純新規限定枠を設けたことで、これまでJAとお取引のないお客さまがJA農産物直売所に足を運ぶきっかけとなりました。金融商品を通じて県内農産物の売り上げ増加による農業所得の向上、地元農産物の魅力の再発見、地域活性化の一助となりました。</p>
<p>今後の予定</p>	<p>平成30年度をもって「マルシェ」の取扱いは終了となりました。</p>



4. 地域密着型金融の取組事例について

長野県JAバンク秋冬キャンペーン 懸賞品付き定期貯金「Slow風土」



経緯	「地産地消」や「地域に根ざしたJAバンク」をテーマに、「JAらしさ」を追求した取り組みとして、平成30年度県下統一秋冬キャンペーンにおいて、長野県内の農畜産物等を景品とした懸賞品付き定期貯金「Slow風土」（スローフード）を発売しました。
取扱期間	平成30年10月1日～12月28日
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 預入期間1年以上のスーパー定期貯金、大口定期貯金 ● 期間中ご契約いただいた方に、「ちよリスポケッタブルボストン」「ちよリスマルチケース」「ちよリスベジタブルバック」のいずれかをプレゼント ● 20万円を一口として抽選を行い、当選者に懸賞品をプレゼント。『信州の食』や「（一社）日本ジビエ振興協会」と連携した『ジビエセット』など、合計22種類をご用意。さらに、当選されなかった方の中から抽選で300名様にトシ・ヨロイツカ&ヴィラデストコラボスイーツ第2弾「リンツアートルテ」をプレゼント
成果	平成30年度は募集総額375億円のお申し込みがあり、多くのお客さまに大変ご好評をいただきました。金融商品を通じて、県内農産物を旬の時期にお届けし、地元農産物の魅力を再確認していただくことで、地産地消の促進と農業所得増大への貢献を目指しています。
今後の予定	今後も農業所得増大と地域活性化に向け、JAバンク・JAを身近に感じていただける「長野県の農・食」をキーワードにした商品として、引き続き実施していく予定です。

4. 地域密着型金融の取組事例について

JA信州うえだ独自

農業者ための地元税理士税務セミナー

経緯	農家にとって、よりメリットのある情報を提供できるよう、地元税理士によるセミナーを企画しています。青色申告会員のために、農家が適正な確定申告を行えるよう、毎年の所得税の申告における留意点や必要経費の確認、記帳の仕方について学べる場を提供しています。
概要	開催日：平成30年2月14日 参加者：15名 内 容：①収入保険制度に加入できる経営状況の把握、経営の分析・改善について ②農地の相続について（相続税の仕組み・事業承継の方法、生前にできること）
今後の予定	セミナー参加者への記帳代行の案内をしています。



4. 地域密着型金融の取組事例について

JA信州諏訪独自

農業振興サポート事業

経緯	JA信州諏訪第3期長期構想21「後期中期3ヶ年計画」（平成28年度～平成30年度）における農業所得増大のための生産販売額の確保・維持を実現するために行う、農業振興サポート事業です。
内容	各品目に応じた施設整備に対する補助や、生産拡大に向けた取り組みの支援を行っています。
成果	<p>【平成30年度実績】</p> <p>事業実績：894件／119百万（事業予算186百万円）</p> <p>補助金額：26百万円</p> <p>財 源：JA信州諏訪農業開発積立金、JA長野県農業開発基金等</p>
今後の予定	今後3年においても継続予定です。 導入資金の必要な農業者については、営農部と融資課で連携し事業推進を図っていきます。



4. 地域密着型金融の取組事例について

JA信州諏訪
独自

がんばる農家応援事業・融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ

	がんばる農家応援事業	融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ
経緯	農業所得の増大と地域活性化を実現し、気象災害に強い安定的な農業経営を持続するため、農業施設貸付を実施しました。	連帯保証人の確保が困難な場合や事業費の高額化による保証人のリスク回避のために、融資事業を活用した事業を実施しました。
内容	<ul style="list-style-type: none">● 施設貸付● 償却費の5分の1以内を助成	<ul style="list-style-type: none">● 農業資金で資産取得● 事業費の5分の1以内を2ヶ年にわたって助成● 保証料を助成
成果	<ul style="list-style-type: none">● 申請15件● 事業費実績46百万円 (計画50百万円、達成度92%)	<ul style="list-style-type: none">● 申請17件● 事業費実績92百万円 (計画100百万円、達成度92%)● 融資額74百万円
今後の予定	平成30年度をもって終了しました。	今後3年間継続して実施します。

4. 地域密着型金融の取組事例について

JAあづみ独自

新規就農者への資金支援

経緯	JAあづみ重点品目である「夏秋イチゴ」の新規就農者増加に伴い、積極的な資金支援のため、制度資金を中心とした資金の円滑な実行を目的とし、事業計画策定の段階からJA（営農・金融）、信連、普及センター、公庫、行政との連携による取組の強化を継続しています。
内容	当人と各部門担当者参加による打合せ会議において、意見交換・情報交換による「実抜計画」を基本とした実践的なアドバイスにより審査時間短縮に取り組んでいます。 ※実抜計画…実現性の高い抜本的な経営改善計画書
成果	申込相談の早期段階から携わることにより、新規就農者との関係性が高まり、積極的なアプローチにつながっています。
今後の予定	今後も部会等を通じた面談や継続的な個別訪問等により次世代就農者および既存就農者へのサポートを実施します。

長野県JAバンクは、
今後も様々な取り組みを通じて
農業者と夢を共有し、
長野県農業を応援してまいります！

